

## 『テニピン』実施レポート

学校名	岡崎市立城南小学校	実施日	10月下旬～11月下旬
担当教員名	濱中 利矩	実施学年/人数	3年/72名
学校学級紹介	<p>本校は愛知県岡崎市のJR岡崎駅の近くにある。          全校児童は500人弱で岡崎市の中では中規模校となる。          第3学年は2クラスで構成されており、1クラス36人である。</p>		
実施内容	<p>10月下旬～11月下旬に週2回行った。8時間完了で単元を構成した。          第1時～第3時「相手コートにボールを打とう」          サーブ練習、前から来た球を相手コートに打ち返す練習、前後左右に来たボールを打ち返す練習を行った。          第4時～第6時「チームでラリーを続けよう」          ラリーを続けるためには、相手が打ちやすいボールを返すことが大切であることに気づき、打ち方を考えた。また、チームのメンバーの個性を生かして打つ順番を考えた。          第7時～第8時「ラリー大会をしよう」          1セット2分間で一番多く続いた回数を記録する。3セット行い、合計で競った。</p>		
指導のポイント	<p>◎「スイングの工夫」「動きの工夫」の2点について①焦点を絞って発問する。②ホワイトボードに板書し、思考を整理する。③Xチャートを利用したワークシートでまとめる。これらの3つの手立てで指導を行った。          スイングの工夫・・・体を横に向けて打つとスムーズにスイングできる。下から上に向けてスイングすると山なりの打球に、水平にスイングすると速い打球になることになる。ラケットの真ん中で打つことでしっかりとしたインパクトができる。          動きの工夫・・・前後左右に来たボールに対し、自分の打ちやすいポイントに移動して打つ。          ◎「ラリーを続けるにはどうしたらよいか」の視点で、チームごとにミニホワイトボードを配付し、動きを整理した。他者を意識して打つ方向や強さを考えるように促した。</p>		
感想・印象 今後の実施計画	<p>体育でテニスを扱うのが初めてで、小学3年でどこまで扱えるのかとても興味がありました。ラリーで打ち方を習得した後、対戦形式でゲームをしようと考えてましたが、全学年まで取り扱ったことがなかったこともあり、ラリーを続けることに目標にして単元を構成し直しました。今回は「打つ動作」については深めることができましたが、「戦術」に関しては難しかったです。ゲーム形式で戦術を考える授業にするならば、ボールを大きくする教具の改善やラリーの途中でキャッチを入れるなどのルール改善が必要であると感じました。</p>		

以下についても御協力御願います。

- 1) 指導案
- 2) 児童感想文（ホームページに掲載可能なもの）
- 3) 写真2枚程度（ホームページに掲載可能なもの）